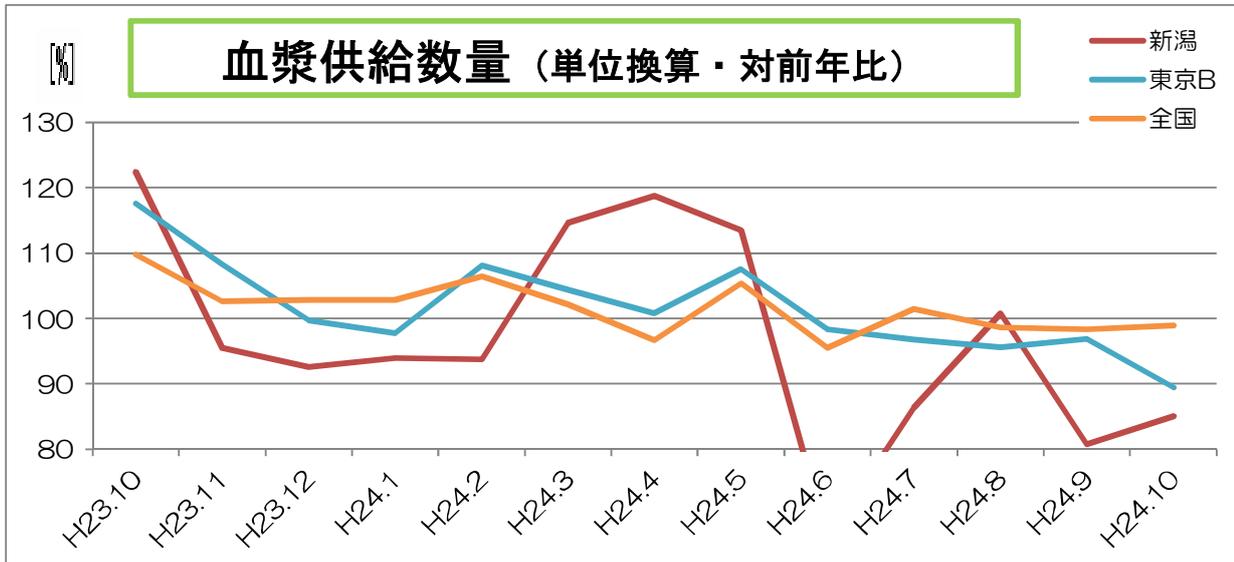
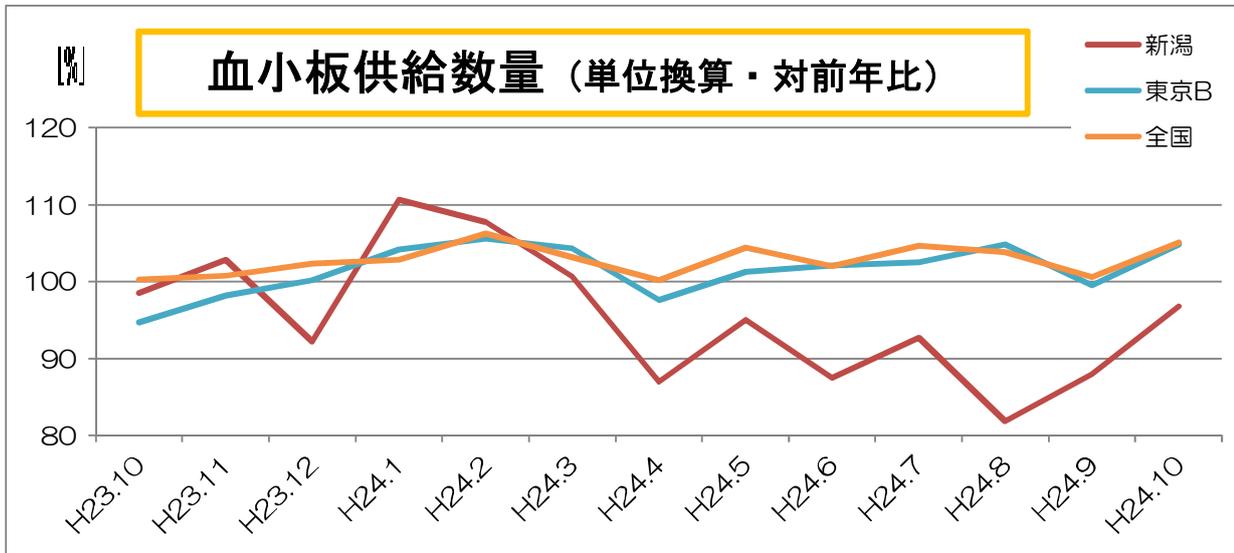
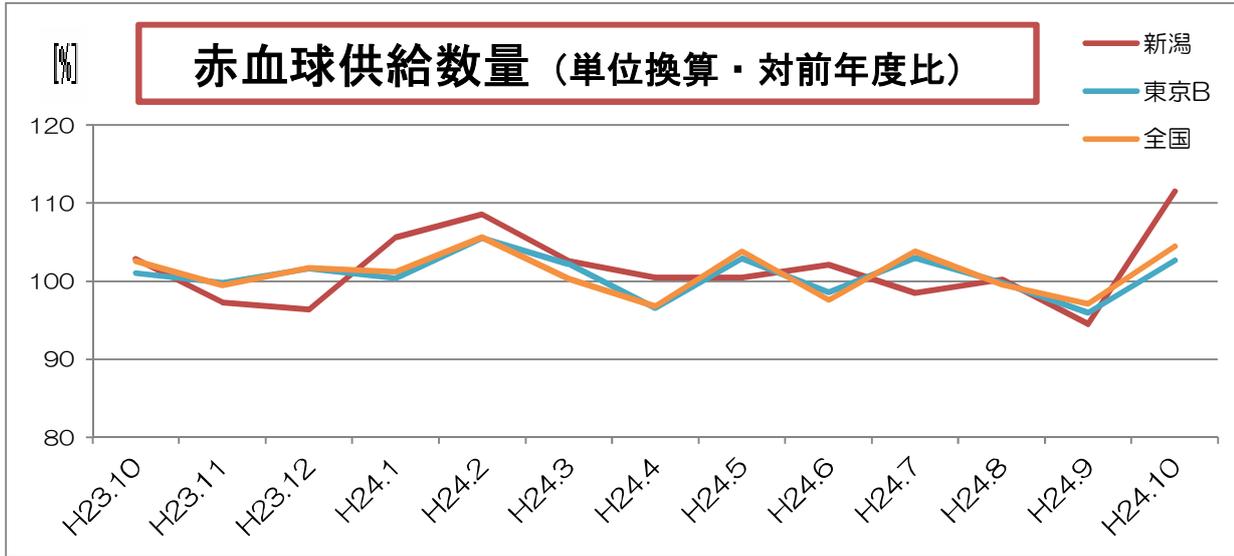
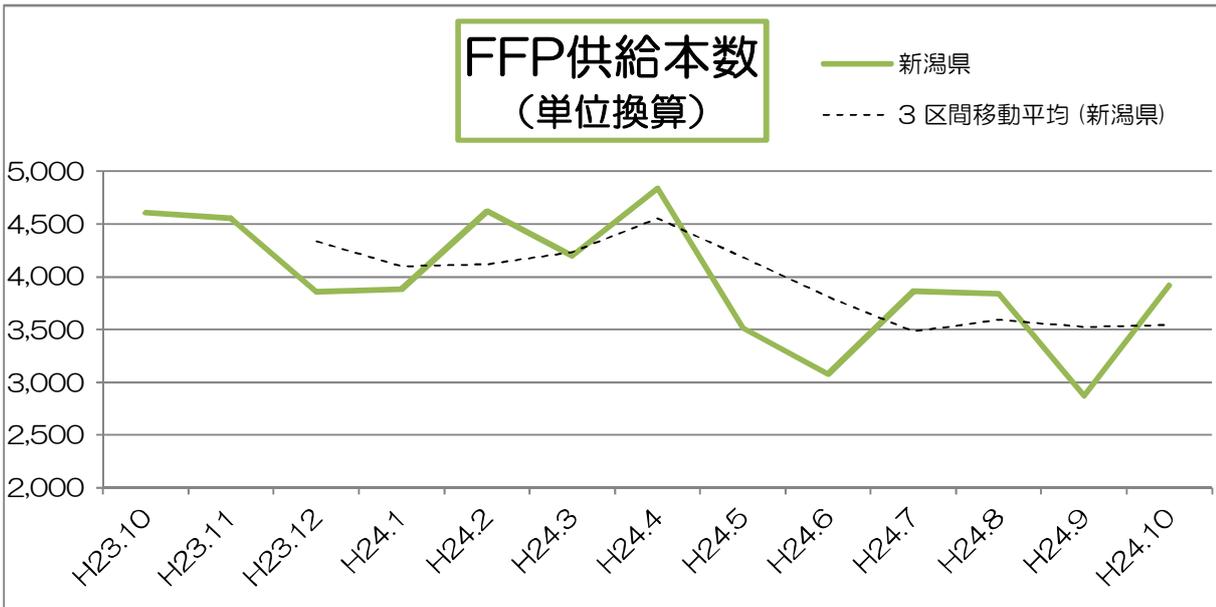
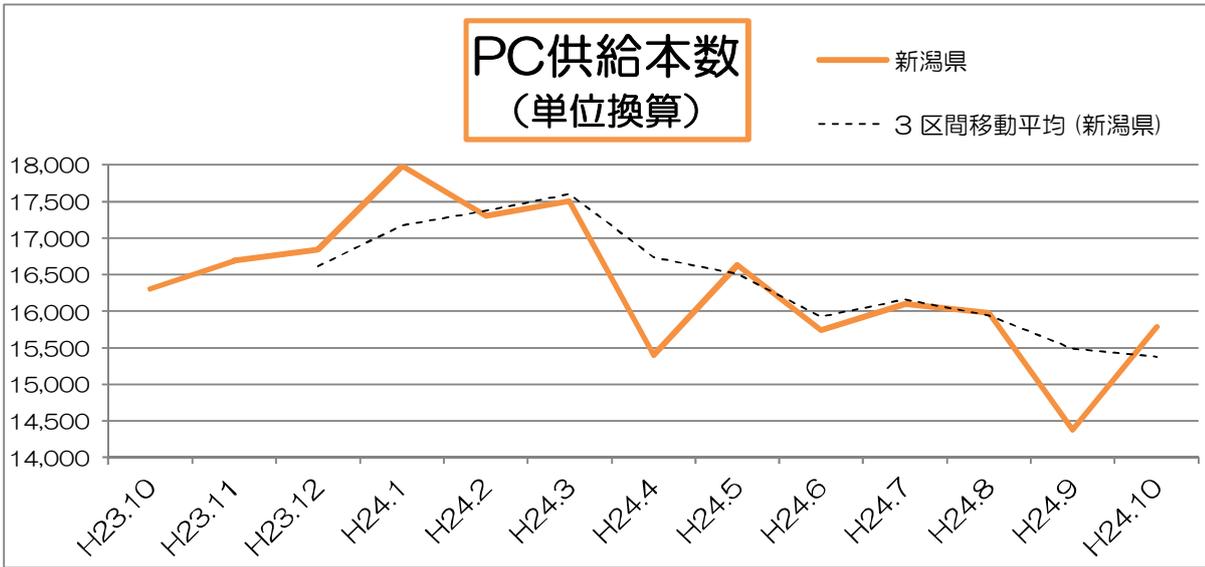
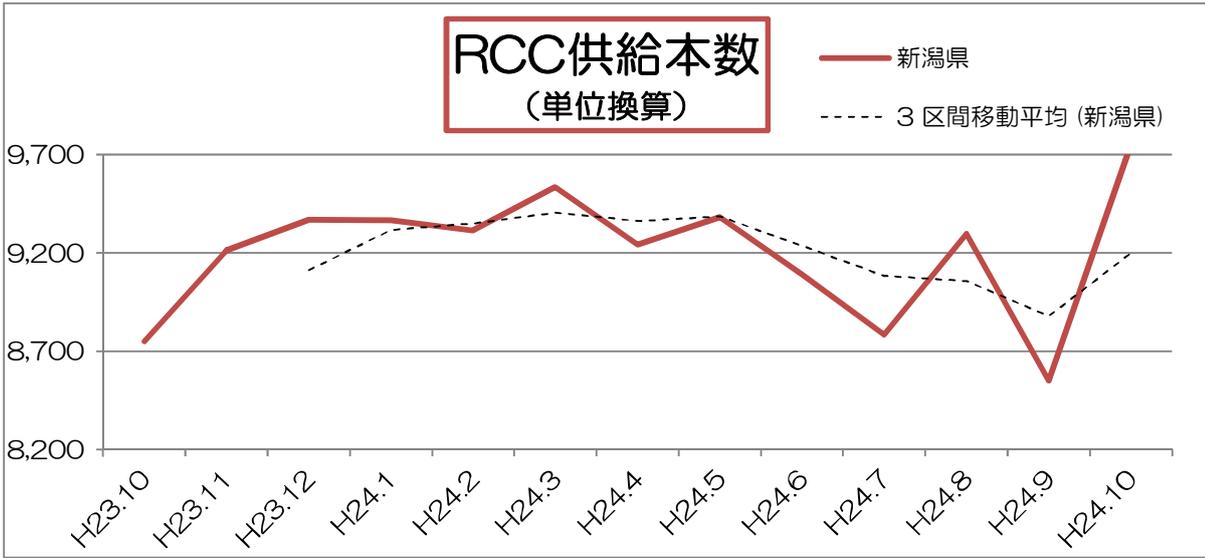


\* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

\* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。





## H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆10 月の特徴： 今月はアルブミンを含む 4 製剤の使用量が増加。特に血漿製剤は 9 月の 30% 増、外科での使用が目立った。それに伴い廃棄量も増加して本年最大。10 月の輸血 3 製剤の廃棄単位数合計は 494 単位を記録した。(平均廃棄単位数約 360 単位/月)

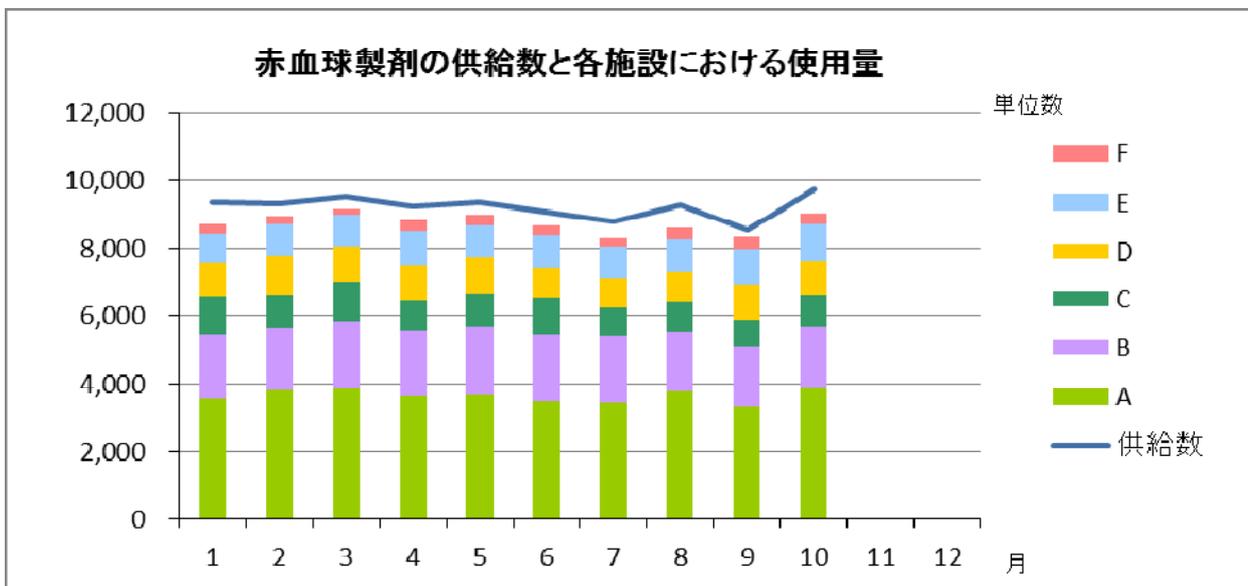
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	23	3,595
F	0～99床	31	1,646
計		82	15,720

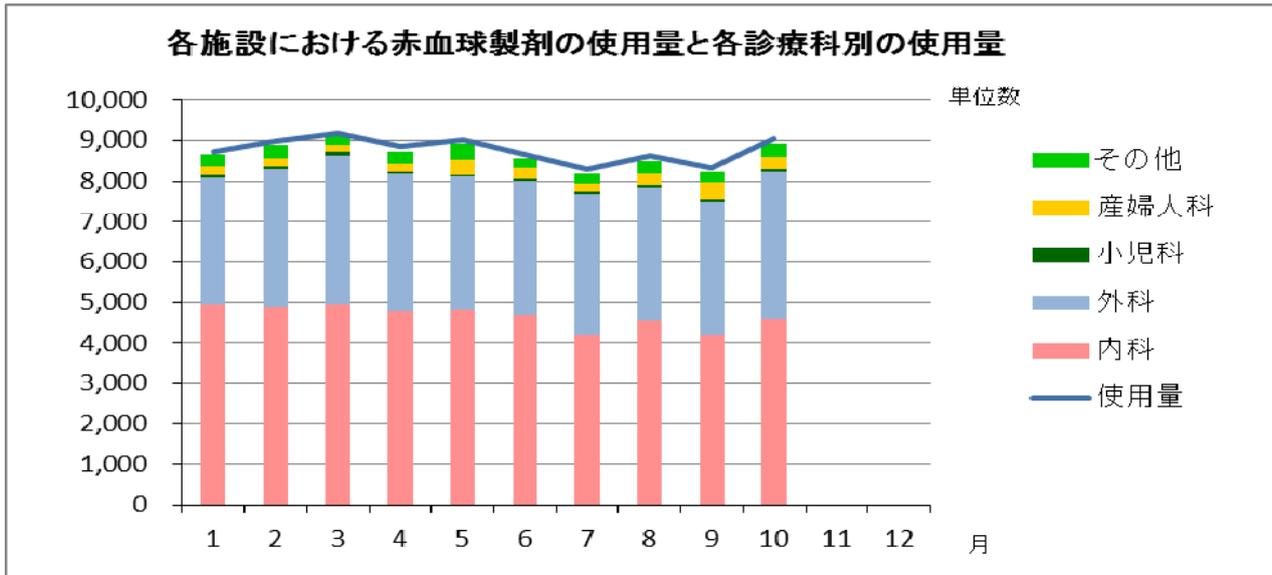
### ○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,883	1,763	1,589	76	196	259	3,883	100.0
B	1,795	903	842	0	48	2	1,795	100.0
C	939	597	326	0	0	16	939	100.0
D	1,031	465	515	0	8	43	1,031	100.0
E	1,055	627	296	0	10	22	955	90.5
F	327	240	87	0	0	0	327	100.0



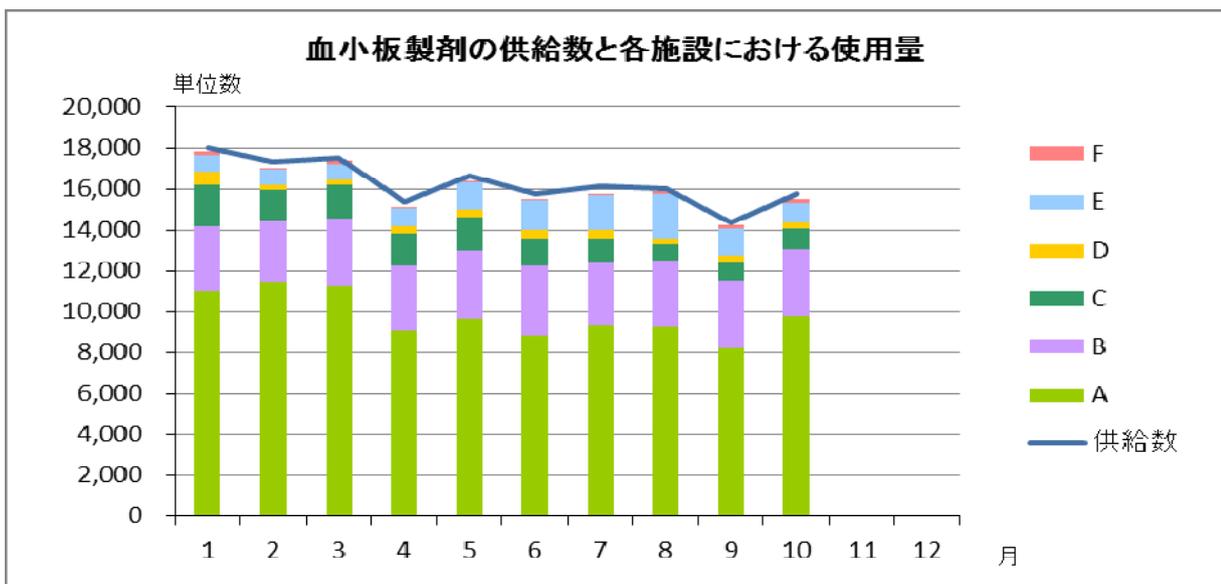


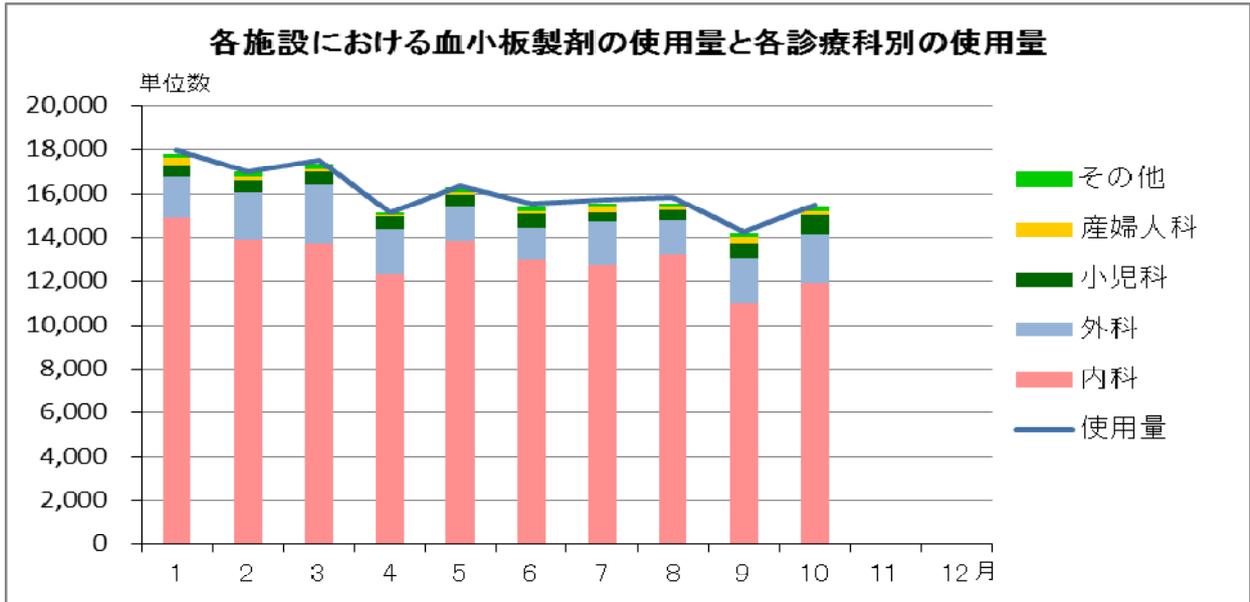
### ○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

\*各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,750	7,225	1,350	835	155	185	9,750	100.0
B	3,320	2,605	660	0	55	0	3,320	100.0
C	995	910	85	0	0	0	995	100.0
D	330	200	130	0	0	0	330	100.0
E	915	810	0	0	0	0	810	88.5
F	190	190	0	0	0	0	190	100.0



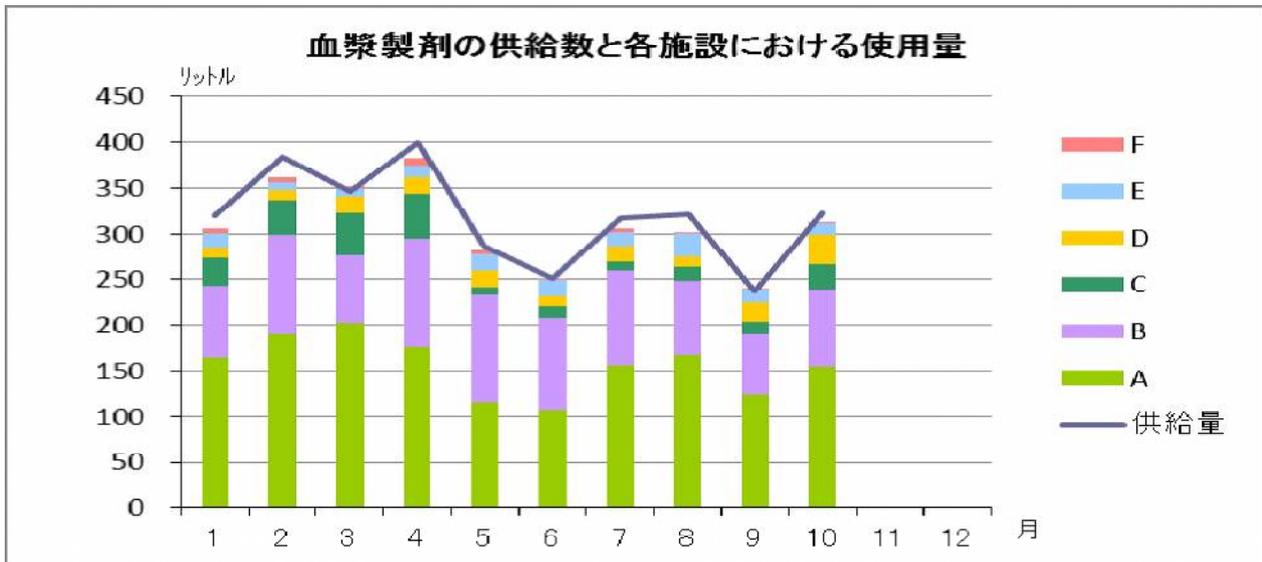


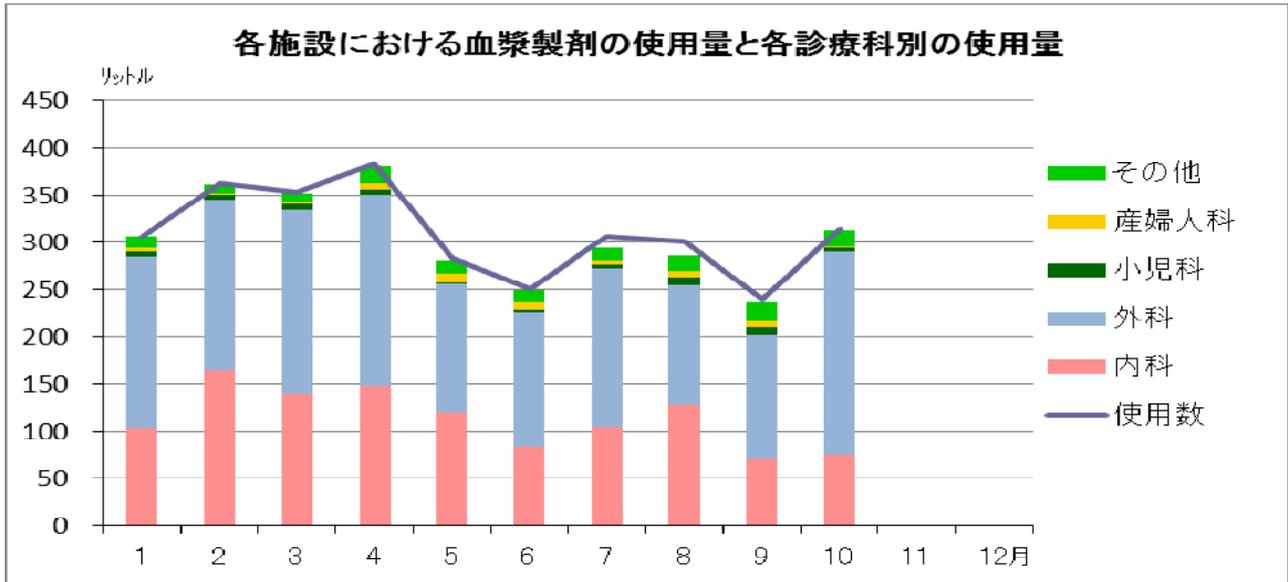
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	155.4	44.4	90.7	4.4	1.2	14.6	155.4	100.0
B	82.8	16.1	66.7	0.0	0.0	0.0	82.8	100.0
C	28.8	4.3	24.5	0.0	0.0	0.0	28.8	100.0
D	32.3	1.2	28.8	0.0	0.0	2.3	32.3	100.0
E	11.5	6.9	3.7	0.0	0.0	0.0	10.6	92.2
F	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	100.0



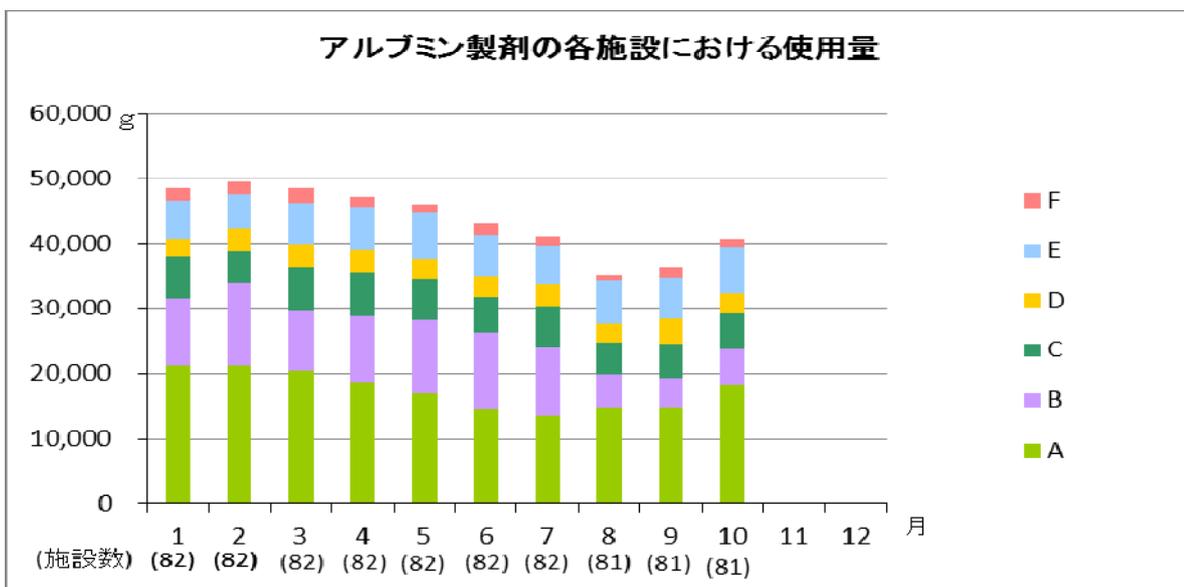


### ○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- \* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- \* 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- \* ( ) 内はアルブミン製剤を使用した施設数と、使用量の入力がされた施設数を表したものの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	18,185.0	3,527.5	4,347.0	60.5	397.5	25.0	8,357.5	46.0
B (4/5)	5,437.5	2,637.5	2,800.0	0.0	0.0	0.0	5,437.5	100.0
C (7/7)	5,666.5	4,350.0	1,291.5	0.0	0.0	25.0	5,666.5	100.0
D (10/10)	3,062.4	1,450.7	899.2	0.0	0.0	0.0	2,349.9	76.7
E (15/15)	6,990.0	2,323.0	782.0	0.0	0.0	60.0	3,165.0	45.3
F (10/10)	1,360.5	990.0	370.5	0.0	0.0	0.0	1,360.5	100.0

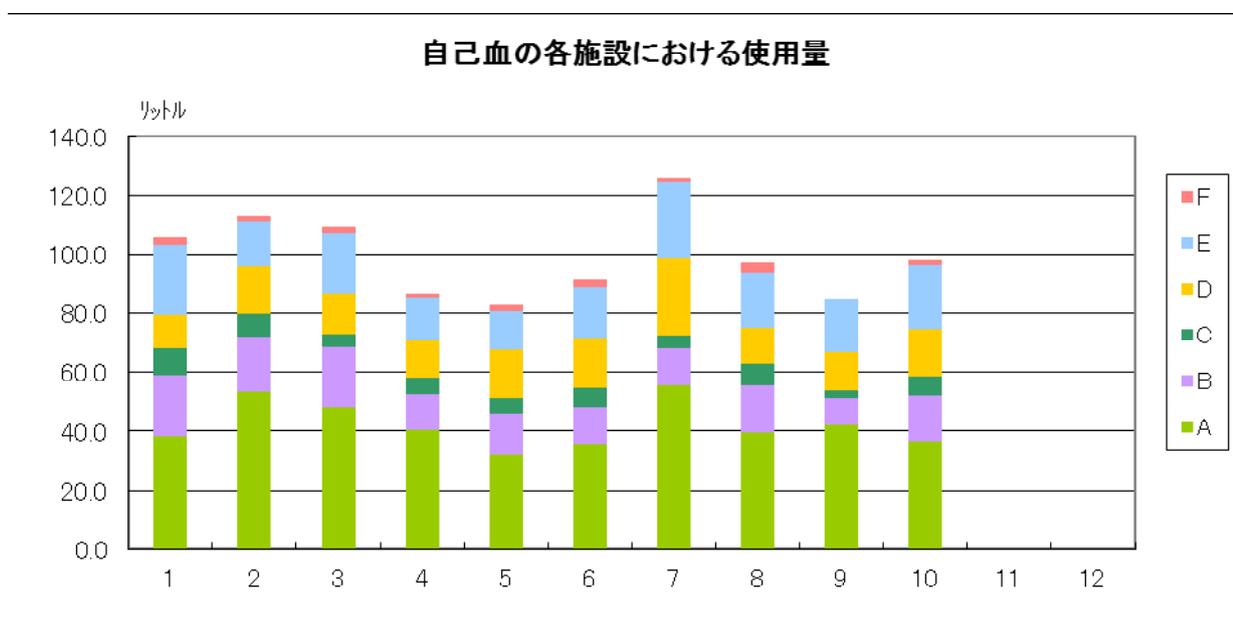


○自己血

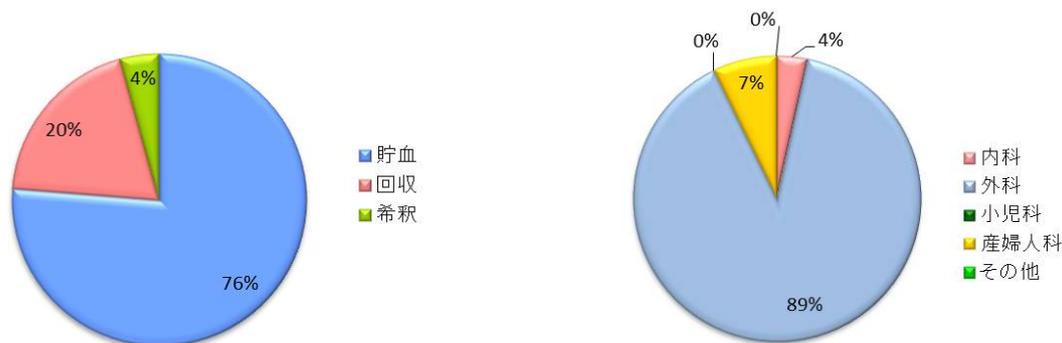
自己血の使用量と各診療科別による使用量

\* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	22.8	9.7	4.2	36.7	3.2	27.8	0.0	5.7	0.0	36.7	100.0	
B	12.7	2.6	0.0	15.3	0.0	14.2	0.0	1.1	0.0	15.3	100.0	
C	6.8	0.0	0.0	6.8	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	6.8	100.0	
D	9.2	6.8	0.0	16.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	16.0	100.0	
E	21.6	0.0	0.0	21.6	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0	18.0	83.3	
F	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	100.0	
計	74.7	19.1	4.2	98.0	3.2	84.4	0.0	6.8	0.0	94.4	96.3	



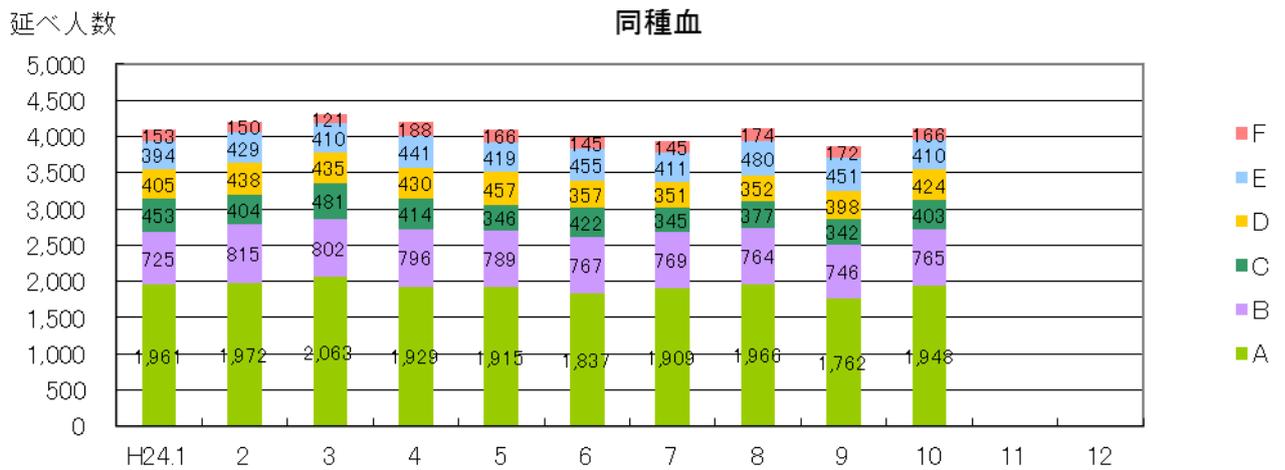
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

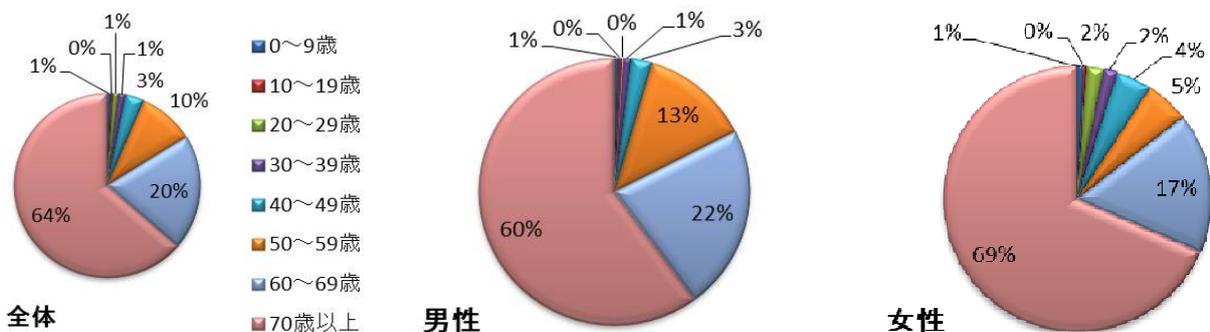
10月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,948	765	403	424	410	166	4,116
1床あたり	0.55	0.36	0.18	0.17	0.11	0.10	0.26
自己血	76	30	18	21	32	3	180
アルブミン	600	256	317	183	145	54	1,555

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

10月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	6	6	3	14	37	191	327	880	1,464
女	8	4	21	18	46	56	181	725	1,059
計	14	10	24	32	83	247	508	1,605	2,523

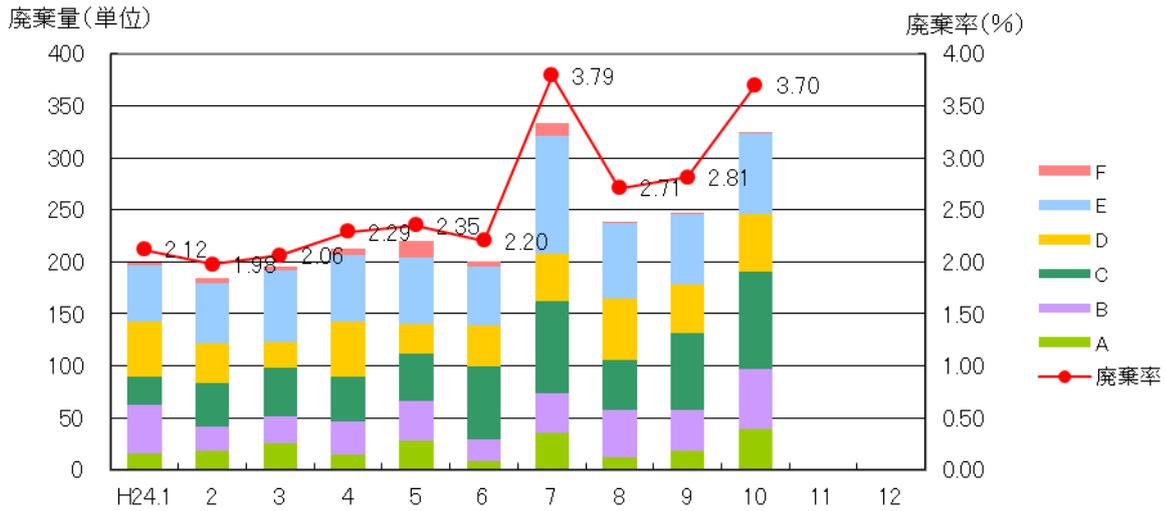


○血液製剤及び自己血の廃棄率

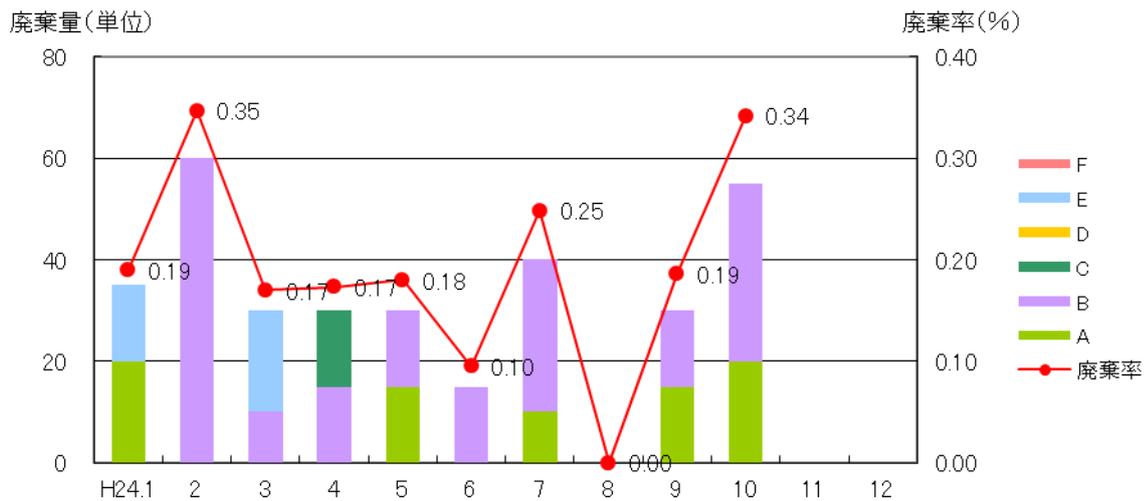
10月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	39	58	94	55	78	1	325
血小板製剤(単位)	20	35	0	0	0	0	55
血漿製剤(単位)	44.5	18.0	39.0	3.0	10.0	0.0	114.5
自己血(リットル)	3.2	1.0	0.8	0.0	0.4	0.0	5.4

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

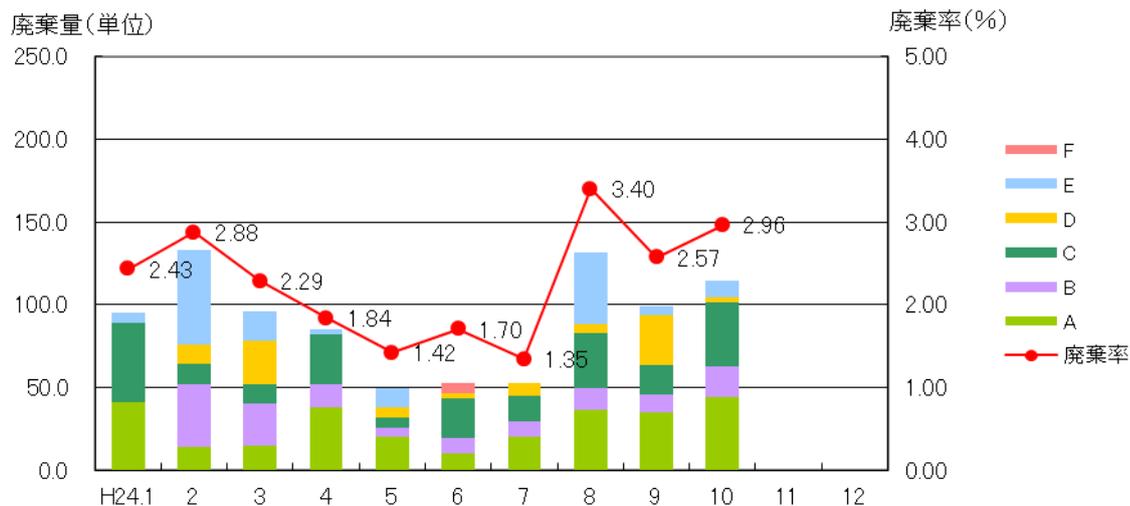
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



### 血漿製剤の廃棄量と廃棄率



### 自己血の廃棄量

